

仁方郷土年表

西 暦	年 号	出 来 事
1148年	久安4年	平清盛が音戸の瀬戸の開削頃、概ね村落をなしていたと推定される
1463年	寛正4年	礪明神創建
1479年	文明11年	大歳神社創建
1550年	天文19年	新宮神社創建
1553年	天文22年	塔の後の僧願成 禪寺を創建（浄徳寺の祖）
1575年	天正3年	白井縫殿介大阪石山本願寺の戦いに毛利方で従軍戦死と伝える（戸田に墓あり）
1624年	寛永元年	寛永の頃から仁方村と記すようになる
1661年	寛文元年	寛文年間に立石山清水寺を字下谷に建立（後の実相院）
1691年	元禄4年	製塩業始まる
1708年	宝永5年	薬師堂を宮原に建立
1711年	正徳元年	地藏堂を東砂に建立 正徳年間に白岳山恵日院普門寺正観世音建立
1717年	享保2年	白日の虚空蔵堂再建（真言宗）
1759年	宝暦9年	戸田でぼら網漁始まる
1806年	文化3年	伊能忠敬が仁方村を測量
1819年	文政2年	仁方村国郡志御用書上帖を藩に提出 (戸数444、人口2741、石高827石1斗8升3合、舟41隻、牛100匹)
1822年	文政5年	松宮邸に芭蕉塚建立
1824年	文政7年	ヤスリ製造始まる
1832年	天保3年	酒醸造始まる
1842年	天保13年	中筋に堀観音建立
1844年	弘化元年	醤油醸造始まる
1871年	明治4年	石灰製造始まる
1874年	明治7年	仁方郵便局開局 浄徳寺を校舎とし、6歳から13歳までの児童を教育（明治6年 興昌館設立）
1878年	明治11年	興昌館を仁方学校と改称
1887年	明治20年	仁方簡易小学校と改称
1888年	明治21年	仁方役場庁舎建築 護法城（実相院）西砂に建立
1889年	明治22年	戸田簡易小学校を設置
1891年	明治24年	仁方尋常小学校と改称
1900年	明治33年	大東に大師堂 建立
1903年	明治36年	蛸舟埋立造成（湊七郎） 明治45年 頌徳碑建立 松井善一小学校長就任 昭和11年 頌徳碑建立
1907年	明治40年	町制施行 仁方町となる
1908年	明治41年	八幡神社、岩倉神社、下華田神社が合祀され八岩華神社と称す
1910年	明治43年	家庭に配電（点灯）開始
1921年	大正10年	家庭に電話が開通
1923年	大正12年	賀茂郡青年団剣道大会で仁方優勝
1927年	昭和2年	賀茂郡青年団柔道大会で仁方優勝
1935年	昭和10年	三呉線開通 仁方駅設置
1938年	昭和13年	仁方隧道開通
1941年	昭和16年	仁方町呉市に合併 仁方国民学校と校名変更
1942年	昭和17年	忠魂碑建立
1943年	昭和18年	広島県産業人相撲大会で仁方チーム優勝
1945年	昭和20年	7月B29来襲 25戸被害 8月終戦
1946年	昭和21年	国鉄仁方堀江間連絡船就航、昭和57年廃止
1947年	昭和22年	仁方中学校創立 仁方小学校と校名変更
1948年	昭和23年	上水道使用開始
1950年	昭和25年	呉市民野球大会で壺万チーム優勝
1952年	昭和27年	仁方小学校創立80周年記念・仁方郷土誌発行
1959年	昭和34年	仁方川尻間国道開通
1965年	昭和40年	八岩華神社のクスノキが呉市天然記念物に指定
1966年	昭和41年	仁方地区住居表示による町名変更 礪神社のウバメガシの群叢が呉市天然記念物に指定
1968年	昭和43年	仁方トンネル開通
1969年	昭和44年	やすり団地第1次造成完了
1970年	昭和45年	仁方の權踊りが呉市無形文化財に指定
1972年	昭和47年	戸田小学校を仁方小学校に統合
1976年	昭和51年	呉地区第1回少年ソフトボール大会で仁方Bチーム優勝
1977年	昭和52年	仁方第二トンネル開通
1984年	昭和59年	三刀家史料（蘭学史料等）が呉市有形文化財に指定
1989年	平成元年	礪神社の舟形石の手水鉢が呉市有形文化財に指定
1993年	平成5年	仁方支所、公民館、消防出張所の複合建物完成（現仁方市民センター）

【編 集】 仁方歴史マップ作成委員会

【参考文献】 「仁方郷土誌総集編」 「呉及び其の近郷の史実と伝説」 「呉の魅力・お宝90選」 等